

東京理科大学 野田キャンパス 7号棟



外観

2019(令和元)年、野田キャンパス創立50周年を期に建て替えられた7号館NRC(Noda Research Campus)教育研究センター。地上6階建ての免震構造の建物で、外壁はカーテンウォールに覆われている。



内観

1Fエントランスの奥に談話室、6Fには学会や講演会などが可能なホールや会議室が設置されており、施設のコンセプトである、さまざまな人が集い分野を超えて議論できる共響のためのスペースを充実させている。



6F男性トイレ洗面コーナー

凛としたスタイリッシュな空間。洗面コーナーには、棚の奥行きが600mmのツインデッキカウンター(特注品)を採用。水濡れを心配せずに荷物を置くことができる。

2Fトイレ図面



6F男性トイレ小便器コーナー

ホールや会議室がある6Fの男性トイレのみ、外部から訪れるさまざまな利用者を想定し、すべての小便器に手すりを設置している。



6F男性トイレ大便器ブース

白を基調にした、清潔感のある空間。大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。男女トイレともに、各階トイレのブース1ヶ所に、L型手すりを設けている。



6F女性トイレ洗面コーナー

鏡後ろからの間接照明がタイルを照らす印象的な洗面コーナー。洗面の背面には、石目調のカウンターが特徴のスタイリングコーナーが設けられ、スタイリングしやすいよう個別の照明と鏡を設置している。

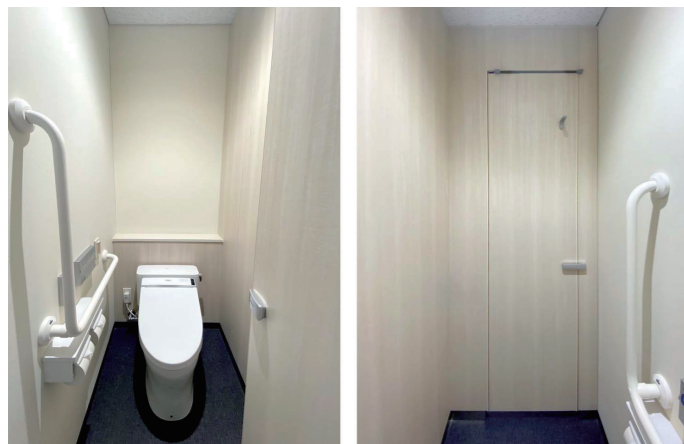
水まわりの特長

建物の特徴

創立140年の歴史を持つ日本における私学随一の理工系総合大学「東京理科大学」では、野田キャンパス創立50周年を迎えるにあたり「7号棟NRC(Noda Research Campus)教育研究センター」を、理工学部敷地の中庭のリニューアルとともに、2019(令和元)年に竣工。本施設は、「創造、イノベーション、融合」をテーマに教育・研究を行う場であり、学生同士や、企業やOB・OGとのコミュニケーションを誘発する場として計画された。外壁には意匠性と性能を兼ね備えたカーテンウォール工法を採用、中庭の緩やかな小道を辿ると存在感あるファサードが見えてくる。また建物は、地盤と絶縁された免震構造物であり、一般の建物と比べ、揺れに対する恐怖感には大幅に軽減される構造となっている。

水まわりの特長

人が多く行き来する1Fとホールがある6Fには、男女トイレのほかに、車いす使用者やオストメイトに配慮したバリアフリートイレを設置。さらに1~5Fの各階には、入口のアプローチレリアウトにも配慮し広々としたスペースを確保した男女共用トイレも設置され、性的マイノリティの方やイベント時に訪れる来校者など、さまざまな利用者が使用しやすい配慮がなされている。トイレは、明るく清潔感のある白を基調とした空間。男女共用トイレや女性トイレの大便器ブースなどには淡い木目調を採用し、石目調の洗面カウンターなどがやわらかな印象と安心感を与えている。また、2~5Fの廊下に設えた湯沸コーナーは、トイレまで行かずに手洗いができるよう配慮がなされている。



6F女性トイレ大便器ブース

女性トイレの大便器ブースは、扉やライニングなどが淡い木目調で仕上げられた優しい雰囲気のある空間。ブースの壁をすべて天井まで立ち上げることで、防犯性と個室感を高めている。



2~5F男女共用トイレ

2Fから5Fの各階には、男女トイレのほかに男女共用の個室トイレを設置。さまざまな利用者に配慮して広めのスペースが確保されており、介助や見守りが必要な方なども、安心して使用することができる。



2~5F湯沸コーナー

各階に2ヶ所に設けられた湯沸コーナーは、ゴミ置き場に隣接し、トイレまで行かずに手洗いができるよう配慮がなされている。

建築概要

名称	東京理科大学 野田キャンパス 7号棟
所在地	千葉県野田市山崎2641
施主	学校法人 東京理科大学
設計	株式会社エムアーキ
施工	株式会社竹中工務店
竣工年月	2019年6月
敷地面積	71,533.84㎡
建築面積	1,909.82㎡
延床面積	9,829.93㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・地上6階、塔屋1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BC、CFS497系
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF553*A系
棚付二連紙巻器:YH651/自動洗浄小便器:UFS900WR
ツインデッキカウンター(スペースアップタイプ):MDWE特/背もたれ:EWC283CR